



留学生レポート特集!

各国の年末年始の過ごし方②

ほしのさんのドイツレポート

2017年あけましておめでとうございます。私がドイツに来て、はや4ヶ月が過ぎました。クリスマスや大晦日といったイベント盛りだくさんの先月はこれまで

以上にドイツの魅力を発見したので紹介します

この4ヶ月ですごく感じていることはドイツ人は合理的だということです。面倒臭いやり方はせず、いかに効率的に作業を早く終わらせられるか常に考えています。暗算が早かったり、記憶力が優れているので、頭が良いとも言えるでしょう。ある日、家に来た友達と暇つぶしがてらに折り紙を折ることになりました。私がちょうどピカチュウの折り方を覚えてばかりだったので、一緒にピカチュウを折りました。少し難しいかと心配したけど彼女は難なくこなし、最後には「最初からこの形に切って目と鼻と口描き込めばいいじゃん!」と言っていました。なんとも合理的なドイツ人らしい感想に笑っちゃいました。日本人とドイツ人は性格が似ているとよく言われますがここに来てわかったことは日本人は几帳面で見た目ややり方もすべて綺麗に完成させることにこだわり、ドイツ人は合理的で少し見た目が悪くても仕上がればよいといった感じで、周りもまたそれを受け入れる寛大さがあります。どちらも最終的に仕事は仕上がるけど、日本の場合はドイツに比べて多少時間がかかってしまうのかなと思います。その代わり高品質に仕上がることもジャンクオリエティの強みなんですよ。私はドイツ人のように効率的に、かつ日本人のように丁寧に何でもこなせる人になりたいです。

さて、私がドイツにくるにあたって最も楽しみにしていたイベント、クリスマスがやっとやってきました。

11/27-クリスマス当日までの待降節期間、ドイツではいろんな事をしてクリスマスをお祝いします。その中で私は学校の有志合唱クラスに参加させてもらい、練習した曲を教会でのクリスマスコンサートで全校生徒職員保護者の前で歌いました。教会で音楽は音が響くのでとても素敵です。また放課後部活がないドイツの学校では高1の同級生と過ごすことが多かったのですが、合唱で他学年、他学級、同い年の人たちとの交流に繋がったのが本当に良かったです。歌といえば、キラキラ星の歌や表彰台の曲の歌詞がこっちはクリスマスソングの一つとして知られていました

みなさんクリスマスの他にニコラウスの日があることをご存知ですか。12月6日の朝、靴の中にチョコレートや洋服など贈り物が入っている日のことです。ある説によるとニコラウスはサンタクロースの起源となった人物なんだそうで、とても慈悲深く、恵まれない人々を支え続け、街の人々に慕われていたのだそう。家計に苦しむある3姉妹の様子を知ったニコラウスは、その家の煙突に、お金の入った袋を投げ入れたのだそう。その袋が暖炉横にあった靴(靴下)に入った。というのがこの習わしの起源なのだそう。本来は前日の夜に靴を磨いてから寝るのが風習ですが私は全く知らなかったで、クリスマスの間違いかと思あわてました。笑

一月に二回もクリスマスじみたプレゼントなんて子供たちにとっては12月が嬉しいけど、各家庭のサンタさんたちはその倍苦しむのが想像出来ます。()_()クリスマスマーケットで街は華やき、学校の同級生たちはプレゼントの話題が飛び、高1の会話ってこんなにかわかったっけ?とほのぼのしていました。ニコラウスも含めてヨーロッパのクリスマスシーズンは経済効果がすごいです(小声)。それから、ドイツのクリスマスは家族と過ごすのでボッチにも優しいクリスマスでした。ホワイトクリスマスではなかったけど、本場を味わえて満足です♪

質問です。あなたは死刑制度に賛成ですか?反対ですか?

日本はアメリカとともに先進国の中で死刑制度を未だに保持しているたった2つの国です。国連が日本に対し何度も死刑制度の廃止を求めているのにも関わらず、日本は未だ廃止に至れません。さらに国民の半数がこの死刑を支持しているといえます。先日、英語の授業で世界の死刑制度【ペナルティオブデス】のありかたについて学び私は日本人として日本の現状を考える機会がありました。正直、こっちの人と意見を交わすその時まで私は死刑をあたりまえだ、罪人の自業自得だと考えてきました。どうも日本や中国アジアの国々が死刑をやめないのにはこの考え方に理由があるらしいのです。東洋では、報いるという理念が古くからありました。恩返しの意味も含むし、同時に仇に報いるという復讐の意味でもあります。確かに「他人にした行いは良いことも悪いこともいつか、自分に帰ってくる」と小さい頃に聞かされたのを覚えています。つまり日本ではなんとなく殺したら殺されて当然という意見が強いのです。それに対し、西洋では罪と罰という宗教的論理に基づいてきました。たとえ罪を犯しても神の前で罰をすれば赦しがもらえるという考え方です。これだけだとは言いませんが、この東洋と西洋の理念の違いが今日の死刑制度の賛否をわけている理由の1つなのです。ついでに死刑執行のされ方も、調べるととてもこの世のものかと思うほどでした。それに立ち会う警察官もきっと人を殺すために警察になったわけじゃないのに本当に辛いですよ。そんな警察を含めた被害者のことを考えるとむしろこんな罪が無くなる方法を早く考えたいところですが、残念ながら今のところ犯罪が起きてしまうのが事実です。では、死刑廃止後はこれらの罪人たちにどの刑罰を処するのか、やはり殺人はダメだというのに死刑を法律で認める日本のままだいいのかこのことについて今1度自分自身に確かめてみるのもいいと思います。

ところで沖縄では来年度の海外派遣生が決まったと聞きました。少しでも役に立てば嬉しいです!!

【準備しておくの良いもの】 デジタルカメラ、日本国旗

【出発までしておけばよかったこと】語学勉強(参考書上ではなく、特に視覚・聴覚的な勉強。音声や動画を見て慣れておけばよかった) 先輩方のマンスリーレポート読んでおけばよかった。(存在さえ知らなかった) ← 編より 読たり前です。ほしのさん達2016年報からスタートしたので 親にお菓子とかの好みを伝えておくこと(荷物送ってもらう時に役立つ)

日本に帰りたと思う気持ちと、まだドイツにいたいという気持ち両方に急かされて、でもそうこうしているうちに留学生活は後半戦です。残された時間で、どれだけ自分が変わるか、成長できるか、楽しみです。